



歯科衛生士が“エビデンス”を明日からの歯周治療に活用できる、まさに実践的な1冊！

エビデンス×臨床判断から導く実践的歯周治療
 星 嵩 著

A4判/160頁/定価 9,900円（本体 9,000円 + 税 10%）/医歯薬出版（2025年7月）

日々の臨床で歯周基本治療やメンテナンスを行っている時、患者さんから突然、歯周病に関する悩みや質問を受けることがあります。「先生に手術を勧められたけれど、本当に必要ですか？」「3カ月ごとに通っていただければ歯周病は進行しませんか？」といった問いかけに、経験豊富な歯科衛生士であればスムーズに答えられるかもしれませんが、けれど、いまの時代は患者さん自身がSNSやChatGPTで最新情報を調べることができるからこそ、返答に迷うケースも増えています。そんなときに支えになるのが、本書のキーワードである「エビデンス」と「臨床判断」です。

エビデンスを活用できれば、患者さんに「なぜその治療を行うのか」根拠に基づいて説明できます。また、そのエビデンスを判断材料しながら、患者さんの希望やライフステージを考慮し、自分自身の臨床経験やクリニックの環境を重ね合わせていくと、一人ひとりにとっての最適解となる治療法の提案につながっていきます。本書を読み進めると、その思考プロセスが自然に身についていくのを実感できるはずです。

「エビデンス」と聞くと難しそうに感じるかもしれませんが、本書では、東京医科歯科大学

（現・東京科学大学）で歯周病学を専攻し、臨床と研究を重ねてきた星 嵩先生（通称・エビデンスモンスター＝エピモン先生）が、アメリカ歯周病学会（AAP）やヨーロッパ歯周病連盟（EFP）の最新ガイドラインをわかりやすく解説しています。さらに、ご自身のクリニックでの臨床写真や図説も豊富に掲載されているので、文章を熟読しなくても視覚的に理解できる構成になっています。

「初診で担当した患者さんどう関係を築けばいいの？」「次のメンテナンスにつなげる声かけってどうしたらいいの？」—そんな、皆さんの日々の小さな悩みにも寄り添ってくれる内容が詰まっています。まるで、信頼できる先輩にアドバイスをもらっているような安心感を得ることができるでしょう。

歯科衛生士の皆さんにとって、患者さんから信頼される「知識の引き出し」を増やすことはキャリアを磨くうえで大切なステップ。本書を手にとれば、その日からあなたも“プチエピモン”として、根拠に基づいた歯周治療を自信をもって実践できるようになります。

ぜひ、明日からの歯科臨床に役立ててみてください！